

東日本大震災の影響で休刊しておりました当情報紙の発行を再開します。
復興に向けた当事務所の活動状況を中心に毎月お伝えします。

再開にあたっての御挨拶 ～「宮城の元気は登米から」を合い言葉に！～

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所長 薩川 昌則

みなさん、こんにちは。今年4月より東部地方振興事務所登米地域事務所長をしております薩川です。
どうぞよろしくお願いいたします。

3月11日に発生しました東日本大震災により、多くの方々が犠牲となりました。心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対しお見舞い申し上げます。

また、この度の大震災によりまして、登米管内でも農業関連施設をはじめ商工観光施設、公共土木施設などに150億円を超える被害がありました。これらの復旧・復興に向けて、登米市をはじめ関係機関とともに取り組んで参りたいと考えております。

さて、私が4月に着任してすぐ、職員に呼びかけたことが2つありました。1つは「被害の比較的少なかった登米地域が元気でなければ、宮城の元気はない。登米地域の基幹産業である農業をはじめ工業、商業、林業をこれまで以上に活性化し、登米地域が元気であることを県内外にアピールしよう」ということ、2つ目は、「これから策定される県の震災復興計画の中で、登米地域が果たすべき役割は何かを考え、地位を確立しよう」ということでした。

登米地域には肥沃かつ広大な農地があり、また自動車関連企業や高度電子機械関連企業など「ものづくり企業」の更なる集積の可能性があり、「みやぎの明治村」をはじめとする観光資源があり、そして何よりも、元気な農業者や企業経営者が大勢いる、などなど夢のある「Seeds (種)」がいっぱい。これらの「Seeds」をどのように活かして、どれだけ登米地域を発展させることができるか。それには、それぞれの分野で創意工夫が必要です。

今、私たち登米地域事務所は、「宮城の元気は登米から」を合い言葉に、職員一丸となって登米地域の発展のために頑張っておりますので、より一層の御支援、御協力をいただきますようお願いいたします。

なお、「とめ地域だより」は、大震災の影響で休刊しておりましたが、大震災から3ヶ月が過ぎ、また皆様に当事務所の活動についてお知らせしようと、今月から再開することとしましたので、引き続きよろしくお願いいたします。

登米地域の元気を届ける「登米おいしいもの市」が開催されました【地方振興部】



毎年恒例の登米おいしいもの市が6月8日、仙台市勾当台公園市民広場で、「復興へ頑張ろう！登米おいしいもの市」と題して実施されました。

当日は、新鮮な野菜や加工品、郷土料理の”はっと汁”や”油麩丼”などが販売され、また、南三陸町からも数店舗が加わり復興をアピールしていました。会場では、特に常連のお客様や登米市出身の方々から暖かい励ましのお言葉をいただき、出展者同士でも再会の喜びを分かち合う姿が見られました。

会場内の観光ブースでは、当部職員が登米地域の観光情報を提供するとともに、近日開催予定の「登米・南三陸観光物産復興祭」のPRを行いました。今後、復興が進む登米や南三陸地域を訪れる観光客が増え、地域経済が活性化することを期待しています。

若手農業者グループが南三陸町の避難所で炊き出し支援を行いました 【農業改良普及センター】



登米市内若手農業者のグループ「登米市4Hクラブ」（会員18人）では、東日本大震災の被災者支援のため、4月8日に南三陸町の避難所の一つである志津川小学校で、郷土料理「はっと汁」の炊き出し支援を行いました。

震災ではクラブ員も被害を受け、それぞれ復旧に励んできましたが、その間に沿岸部の壊滅的な被災状況を知り、自分たちができることを考えるようになりました。検討した結果、登米市迫町森地区の「汁ぱっと（はっと汁）」の作り方を以前伝授されていたこと、野菜が手元にあることなど、自分たちの強みを活かせる「避難所でのはっと汁の炊き出し支援」を、日ごろの活動で培った行動力を持って迅速に実施することとしました。

炊き出し支援にあたり、南三陸町から紹介された避難所（志津川小学校）には400名を超える住民が避難しているため、前日から準備を行い、当日はクラブ員の兄弟や友人等も含めて12人で炊き出しを行いました。「はっと汁」を食べた住民の方々からは、「汁物は体が温まっていい」、「野菜がたくさん入っていてうれしい」などの感謝の言葉を数多くいただきました。

クラブ員たちは、今回の炊き出し支援活動の結果に自信を深め、今後も機会を見つけて支援を続けていきたいとのことです。



東日本大震災 農業施設復旧への第1歩！ ～災害査定が始まりました～

【農業農村整備部】



【飯島地区幹線農道亀裂箇所】

東日本大震災及びその後の度重なる余震により、登米管内の農地・農業施設においても、水田の陥没・亀裂、用排水路の目地破損・亀裂、農道の沈下・亀裂及び農業集落排水の管路の陥没・沈下等がこれまでにない規模で多数発生しました。

当部では管内の被害状況を取りまとめしており、その結果、現時点で農地・農業施設など併せて約600箇所、被害額は約46億円と相当の被害が発生していることが分かりました。

特に、用水施設の被害に関しては、そのままでは今年の水稲作付に大きな支障を来すことから、応急工事を行いました。その結果、5月10日までに登米管内のすべての水田が作付け可能となり、米が生産できない最悪の事態は回避できました。

また、現在、被災した農地・農業施設の本格的災害復旧事業に向けた災害査定が始まっており、査定で被害が認められると災害復旧工事が可能となります。現時点で被災した農地等はまだまだそのままだけですが、災害査定や災害復旧工事が進むにつれて、来春までに登米市内の農地等の大半は、震災前の状態に戻ると考えられます。



【桜岡幹線用水路の漏水箇所】

安全安心な登米産畜産物で「がんばろう！登米」,「がんばろう！宮城」
【家畜保健衛生所】

東日本大震災が発生してから100日が経ちました。少しずつではありますが着実に復興は進んでいます。人々の心も、ゆっくりゆっくりと癒されてきていると信じたいものです。しかし、残念ながらその歩みを遅らせているのが、東京電力福島第1原発事故による放射性物質拡散の問題です。宮城県では、各種農産物の放射性物質の量を定期的に測定していますが、その値は規制値を大幅に下回っており、安全性に問題がないことが確認されています。ただ、県内の一部地域の飼料用牧草において、乳用牛、肥育牛の食べる規制値を上回る放射性物質が検出されており、これらの牛に給与されないよう対策を行っています。

登米市内の牧草の放射性物質量は規制値を大きく下回っており、安全安心で良質な牛乳・牛肉が生産されていますので、どうぞ皆さん、安心して登米産の畜産物を召し上がってください。今回は、牛肉・牛乳を使った料理をいくつか紹介します。早速今日にも召し上がってみてください。そして、体にも心にもたっぷり栄養を供給し、震災後初めての夏を元気に乗り切ってください。みんなで、「がんばろう！登米」,「がんばろう！宮城」,「がんばろう！東北」

★牛肉のスタミナたれの焼きしゃぶ



○材料（4人分）：牛薄切り400g, ニラ1袋, もやし1袋, 大根約3cm, 大根おろし1/3本分, 赤唐辛子の小口切り 少々,

【スタミナたれ（はちみつ・醤油 各大さじ3, 酢 大さじ5, ごま油・みがきすりごま(白) 各大さじ1, 味噌 大さじ2, おろしにんにく1カケ）】, ごま油・サラダ油・塩・黒こしょう・醤油・みりん・酒 少々

○作り方：①大根3cmは、皮をむいてさいの目切りにしてさっと洗い、大根おろしと合わせて粗挽き黒こしょうを混ぜておく。

②【スタミナたれ】をボウルに混ぜ合わせる。

③ニラは3cmの長さに切り、フライパンにごま油大さじ1とサラダ油を熱して炒める。塩をふり、もやしを入れて炒め、醤油、みりん、酒をからめて器に盛る。

④フライパンにごま油大さじ1を熱して牛肉を焼き、③の器にのせる。赤唐辛子を散らし、②のスタミナたれをかけていただく。

★夏のさっぱりステーキ



○材料（4人分）：牛ロースステーキ2枚340g, 玉ねぎ 中1個, 醤油 大さじ2, 粗挽きマスタード 大さじ1

○作り方：①玉ねぎを縦半分にし、繊維を断ち切る方向に薄くスライスし、水にさらしてきっちりしぼり、醤油を混ぜておく。

②フライパンをよく熱し、牛脂でフライパンの表面に油をひき、ステーキの両面をほどよく焦げ目がつくまで焼く。

③肉をスライスして皿に敷き、醤油大さじ2にマスタードをまぜたソースをかけていただく。

★牛乳ジェラート



○材料（4人分）：牛乳400ml, てんさい糖80g

○作り方：①小鍋に牛乳半量とてんさい糖を入れ、中火で煮溶かす。

②溶けたら火から下ろし、残りの牛乳を加えビニール袋に移す。

③荒熱がとれたら冷蔵庫で固める。固まってきたら、途中2回ほど袋の上から揉む。

③お好みでジャムやヨーグルトソースをかけていただく。



【中田町のほ場作業】



【豊里町のほ場作業】

登米市中田町と米山町の水田を中心に、ひとめぼれやまなむすめのプラウ耕・グレーンドリル播種方式による乾田直播作業が行われました。この播種技術は、プラウ耕による深耕、バーチカルハロー等による整地、レーザー均平機による均平、グレーンドリルによる播種、鎮圧ローラーによる鎮圧が主な作業となっています。

また、豊里町のほ場では、ひとめぼれの広畝成形同時水稲乾田直播作業が始めて行われました。この播種技術は、古川農業試験場で開発された技術で、往復作業で広畝と溝を形成しながら同時に播種する方式です。乾燥時には成形した溝にゆっくりと通水し、降雨時にはこの溝から排水して、出芽・苗立ちの安定を図るものです。

両技術は、大豆や麦等の汎用性の高い作業機を活用することによる生産コスト低減、更に水稲育苗の省力化や春秋の農繁期作業の分散が実現することにより、今後の経営規模拡大時の課題解決に結びつくとして着目されています。

しかし今回の乾田直播を始めとした水稲直播技術では、ほ場条件等により期待した生育や収量が得られないケースもあるため、普及センターでは技術確立に向けた支援を行っていきます。

がんばろう宮城！復興祭「佐沼夏まつり」が開催されます

今年も、およそ400年の古きにわたり宮城県・登米地方の最大の夏祭りとして開催され、定着してきた伝統ある「佐沼夏まつり」が開催されます。特に今回は、慰霊と復興の思いを込めたまつりとして開催されますので、皆様お誘い合わせの上、登米市内の各会場へお越し下さい。詳細については、登米中央商工会ホームページ（<http://www.tome.or.jp/>）をご覧ください。

◆開催日／平成23年7月23日(土)・24日(日)

◆場所／23日(土)前夜祭(中江中央公園) 24日(日)本祭(一市八日町通り及び中江中央公園他)

◆主なまつり催事(予定)

○23日(土) 商工会青年部による「前夜祭」等

○24日(日) みこし&七福どん燈大行進、ちびっこみこし大行進、ちびっこ創作お囃子大行進、おいとこ踊りパレード、手踊り大行進、お囃子・山車等大行進、鹿踊り、登米市南三陸物産市、灯籠流し、花火大会(約2,500発)等

次号は8月上旬発行予定です

「とめ地域だより」は当地域事務所各部の情報を取りまとめ作成したものです

内容についてのご意見、ご要望、お問い合わせ等につきましては、下記までお寄せ願います。

宮城県東部地方振興事務所 登米地域事務所(地方振興部)

〒987-0511 登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

電話：0220-22-6112(直通) ファクシミリ：0220-22-7522

e-mail：et-tmsinbk1@pref.miyagi.jp ホムペーヅ：http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/

